

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



しびれに負けず精神統一

尾張旭・西山保育園の園児ら

尾張旭市の市立西山保育園の園児25人が19日、同市井田町1丁目の福田寺で座禅を体験した。園児たちは背筋をピンと伸ばして精神を統一した。本堂に入った園児たちは、正しい座り方を教わり、静かに呼吸を整えることと心を落ち着かせるなど、戸谷住持住職に「背筋を伸ばして」「目線を下げて」と言を掛けられ、休憩をはさんで計20分ほど座禅を組んだ。警策や喝を入られた井川心葉ちゃん(6)は「あんまり痛くなかった。足がしびれそうだったけど頑張った」と話した。

「強」の漢字を当てていく。一位が忍、二位が楽、三位が幸、以下無、若、生、平、運、耐と続く。還暦を迎えた祖を予言し、平生の男女に聞いた「自分の人生を漢字一字で表すな」というアンケートの結果だそう。尾張旭市丸森町の渡辺すまゐ(79)は台風19号の豪雨と阿武隈川の氾濫によって自宅が胸の高さまで水に漬かり避難所での生活を送っている。二〇二〇年の東日本大震災。



2019/11/19



2019/12/19

この方の中に「強」の漢字を当てたくなる。災害という不運はめぐり合われ、お困りの方が大勢いる。それを救えるのは行政である。今画に求められている漢字は「援」助であり、情である。そして、急である。

△(上) 朝日新聞お披露目
 △(下) 福田寺



2019/11/19

福田寺にて
 当時暮らしていた同県豆理町の自宅を津波に押し流され夫を失う。その後夫の郷里である丸森へ移り家を新築した。今回浪水したのはその大切な家である。悪夢であろう。天を恨みたくなる二つの災害だが、渡辺さんは「震災の時に比べ、今回は食料も飲み水もあるから大丈夫」と同じ被災者を励ましていくと聞く。



2019/11/19

福田寺で西山保育園の坐禅取組(続)



2019/11/19